

## 甲賀西保育園

日時：平成19年2月14日(水) 13:00~17:00

平成19年2月16日(金) 9:00~17:00

場所：甲賀市甲賀町滝838

甲賀西保育園は、自然に恵まれた保育園です。園から10分も歩いていくと、子どもたちが「忍者山」と呼んでいる森があり、そこには杉林やお椀のような池の跡があります。

### 「ぼくらはみんな生きている」のプログラム

杉林の中で大好きな木を探し、観察した後、「風と木のゲーム」をします。木も人間と同じように木の皮(服)を着て、冷たい風や虫などから身を守っていることに気づくプログラムです。



風から木を守るために、木に飾り付けをします。(木に服を着せます)

「風と木のゲーム」：木の役は飾りを取られないように、木を守ります。風の役は風になり、木に付けた飾り(服)を奪います。

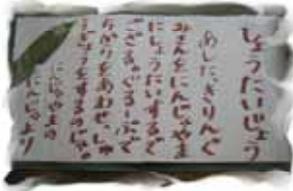
### 「森のゆうえんちへようこそ」のプログラム

森の中は神秘的な世界です。倒れた木や腐葉土の積もった柔らかい土を利用して、森の中を遊園地にたとえてあそびます。あそぶことで、自然の大きさや不思議さを感じるプログラムです。



## 「にんにんにんじゃでござる修行でござる」のプログラム

森の中で見つけた巻物に書いてある忍者の修行をします。木に隠れたり、音をたてずに歩いたりすることを通して、森の中で生きていくための動物たちの工夫に気づくプログラムです。



前日、きりん組に巻物が届きました



忍者山で、巻物を見つけました



修行をし、こんな巻物を見つけました

怖くな  
んか  
ないよ



にんぼうすりばち  
じゃんぶのじゅつ

かくれの  
じゅつ！  
ササッ！！



にんぼうかくれみ  
のじゅつ

音がする!!  
修行がた  
りない!



にんぼうしのびの  
じゅつ

家の中の方が音、  
せいへんで!!

動物たちが自然の中で、どのように隠れ、身を守り、  
生きているのかがわかりました。

## 参加された先生の 声

自然は苦手だと思っていたが、木に抱きついたり、土に触ったりしてもいやではなかった。ただ散歩に出かけるのではなく、ねらいを持って行くことで、子どもたちに生きた自然体験ができることがわかった。

冬の自然を子どもたちにどのように伝えていったらいいのかわからなかったが、今回の研修で、良い勉強ができた。自然は一日一日変化しているので、自然の中に出かけるだけでも、感性が養われることがわかった。

終了後、子どもたちは忍者に会いたいとお手紙を書きました。



自分自身が自然の中であそぶ経験をしていないので、自然の中に子どもたちを連れて行くことには恐怖心があったが、今回の研修で、自然と肌で触れ合うことができ、自然のすばらしさを実感できた。

濡れてあそぶ体験を今までしていなかった。雨の日は部屋の中での保育になっていた。雨に濡れて、忘れていた感覚が呼び覚まされた気がした。(学習会1日目の下見は雨でした。)

## Q & A

(解答: 講師 環境レイカーズ代表 島川武治(しまっち))

Q: 今回森の中で目を閉じるあそびをしました。そのねらいについて教えてください。

A: 目を閉じることで、自然をより印象的に感じるができます。子どもたちがそれに気づけるような言葉がけをするとよいでしょう。例えば、立ち止まって目を閉じて、「どんな感じがする?」「風はどっちからふいてくる?」「何の音が聞こえる?」「今立っている場所はどんな感じがする?」などです。視覚以外の感覚に集中することで、目を閉じることが怖くなくなり、他の感覚が広がるような体験をするとよいでしょう。